

## 第2章 都市づくりの理念と目標

### 2-1 基本理念・将来都市像・都市づくりの目標の設定

今回策定した都市計画マスタープランは、少子高齢化の進展、高度情報化社会への転換といった社会経済状況の変化や、平成18年の都市計画法（まちづくり三法）等の改正及び高浜市総合計画の改訂などを背景に、高浜市都市計画マスタープラン（1996～2010）をもとに、所要の見直しを行ったものです。特に本市においては、少子高齢化の進展が顕著であるとともに、地域の産業構造が、瓦産業から自動車関連産業へ大きく移り変わり、近隣地域で働く労働者人口が増加しました。さらに、定住自立圏構想の実現に向けた周辺市町との連携を進め、圏域全体の利便性の向上や創出が必要とされています。

以上のことから、前述の上位計画などを踏まえ、今後の社会情勢の変化に柔軟に対応できるような都市づくりを目指し、第6次総合計画との整合を図り、基本理念、将来都市像、都市づくりの目標を以下のように設定します。

#### 〈基本理念〉

地球環境問題の深刻化や高齢社会の到来を踏まえ、人と自然にやさしい都市づくり、誰もが安心して暮らせる都市づくりを進めます。また、市民が愛着をもって住み続けられる都市を目指し、市民協働により、地域の個性を活かし、活気と交流のある都市づくりを進めます。

#### 〈将来都市像〉

**思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま**

みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう



市民の自主性を高め交流を促進する都市づくり

学びあい 力を合わせて豊かな未来を育もう



いきいきとした暮らしを実現できる都市づくり

明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう



「住んでみたい、住みやすい、そして住み続けたい高浜市」を目指した都市づくり

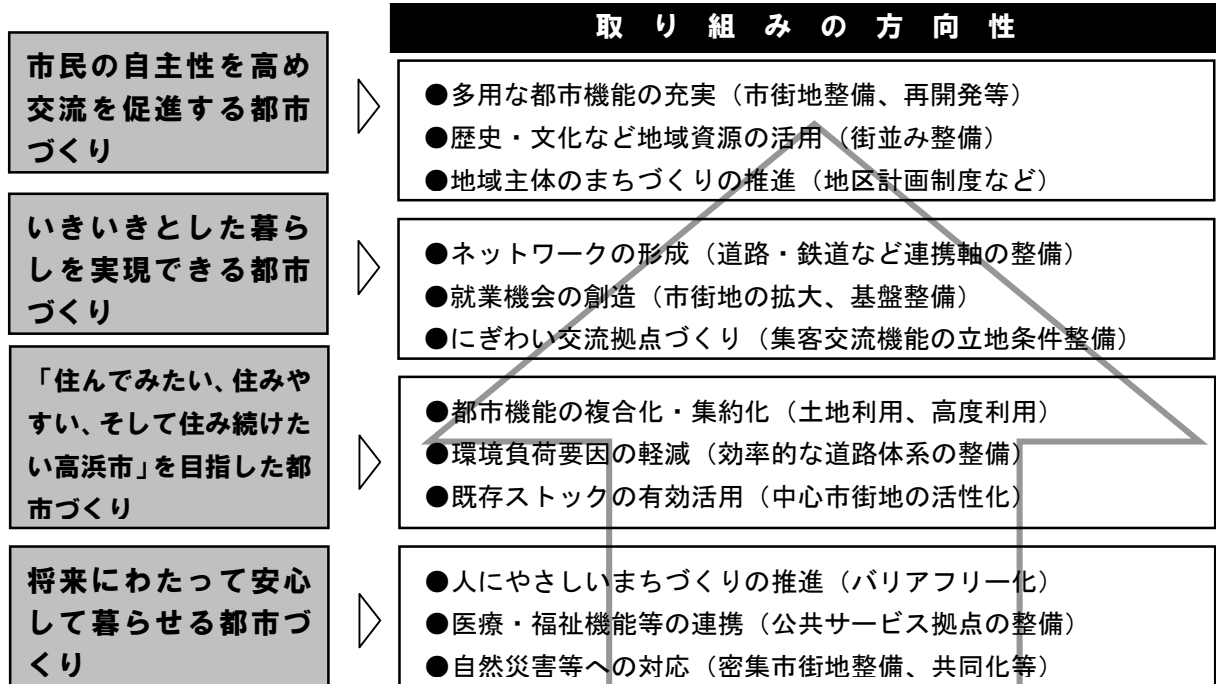
いつも笑顔で健やかにつながり 100倍ひろげよう



将来にわたって安心して暮らせる都市づくり

## 2-2 都市づくりの目標実現に向けた取り組みの方向性

前述した4つの都市づくりの目標を実現するために、それぞれ取り組みの方向性を次のように整理します。



### 地域との協働による都市づくりの実現

高浜市には5つの小学校区があり、「地域でできることは地域で行う」を合言葉に、小学校区単位で設立された住民自治組織「まちづくり協議会」が主体となって、地域の個性・特徴を活かしたまちづくりが進められています。

目標の実現にあたっては“地域の想い”を尊重し、地域の「やりたい!」「こうしたい!」という自主的・自発的な取り組みを応援するとともに、地域とともに協働して取り組んでいきます。

## 2-3 将来指標の設定（将来都市フレーム）

第6次総合計画、人口ビジョンに合わせて、各将来フレームを設定します。

### 1 人口フレーム

**将来人口 48,000人**（平成33年を目標年次とする）

人口は、コーホート要因法により算出した結果から、下記に示すもののピークとなる48,000人を目標値に設定します。

	実績					推計
	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成33年 (2021年)
人口 (人)	36,638	38,716	42,013	45,163	46,633	47,823

注) 住民基本台帳の人口（各年10月1時点）を基準に算出  
 なお、平成33年の推計は「高浜市人口ビジョン」にて公表された数値のうち、直近の平成32年の推計結果を引用

#### 高浜市人口ビジョンでの将来人口シミュレーション

人口ビジョンでは、国から示された人口動向分析・将来人口推計ツールを用いて、いくつかの想定水準に基づき人口推計を行っている。設定条件は下記の通り。

##### 【設定条件】

- ①基本パターン…5・6ページ「総人口・年齢区分別人口の推移・推計」より
- ②シミュレーション1…基本パターンをベースに、仮に合計特殊出生率が2030年(平成42年)までに人口置換水準（人口を一定に保てる水準2.07）まで上昇したとした場合のシミュレーション
- ③シミュレーション2…基本パターンをベースに、仮に合計特殊出生率が2030年(平成42年)までに人口置換水準（2.07）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした場合（転入・転出が同数となり、移動が“0”となった場合）のシミュレーション
- ④シミュレーション3…基本パターンをベースに、仮に合計特殊出生率は現状を維持するが、人口移動が均衡したとした場合（転入・転出が同数となり、移動が“0”となった場合）のシミュレーション
- ⑤シミュレーション4…基本パターンをベースに、仮に合計特殊出生率が5年後の平成32年において、現在公表されている最新の合計特殊出生率の全国平均である「1.43」（平成25年）となると仮定し、転入・転出は現状の状況を維持するとした場合のシミュレーション
- ⑥シミュレーション5…基本パターンをベースに、仮に合計特殊出生率を「0.0」とし、転入・転出は現状の状況を維持するとした場合のシミュレーション

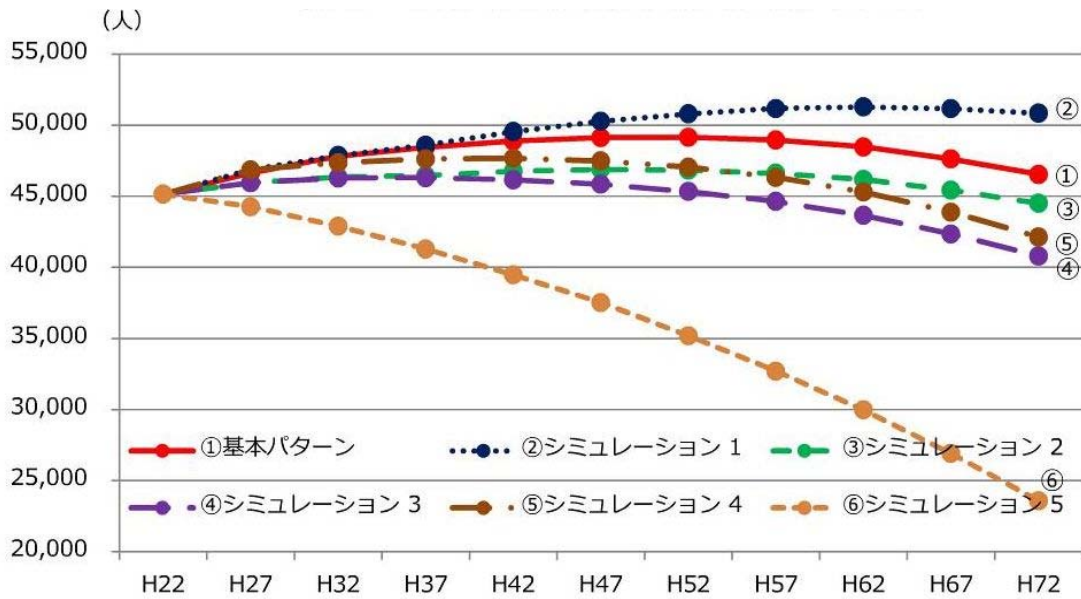


図 将来人口 (高浜市人口ビジョン)

## 2 住宅地フレーム

**新規住宅用地**                      **約 20ha**                      (平成 33 年を目標年次とする)

都市計画基礎調査(平成 9 年度、平成 19 年度、平成 25 年度)より、市街化区域内未利用地のうち目標宅地化と工場用地から住宅用地へと転用される目標面積を算出し、それぞれ住宅用地化によって吸収される人口と新規拡大住宅用地で受ける人口より、新規拡大住宅用地の人口密度の目標値を 60 人/ha として、新規拡大住宅用地の目標値を設定します。

## 3 工業用地フレーム

**新規工業用地**                      **約 90~100ha**                      (平成 33 年を目標年次とする)

年次と製造品出荷額等(1997 年~2014 年)の実績を元に推計式を作成し、2021 年の推計値を試算しました。この場合、2021 年の工業用地は 380.2ha と推計され、工業系用途地域面積 285.1ha との差(95.1ha)を新規工業用地の目標値に設定します。

## 4 商業地フレーム

**将来商業地フレーム**                      **41,334 m<sup>2</sup> (現状維持)**                      (平成 33 年を目標年次とする)

人口と売り場面積(1997 年~2007 年)の実績を元に推計式を作成し、2010 年、2021 年の推計値を試算しました。この場合、2021 年の商業地フレームは 39,094 m<sup>2</sup> と推計されますが、現在、2007 年の売場面積 41,334 m<sup>2</sup> を下回るため、商業地の維持を目標とします。